



2021年10月22日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 真 船 達
(コード番号： 2191)
問合せ先 管理本部広報IR 高森 眞子登
(電話：03-5937-2111)

会計監査人からの監査契約解約通知の受領に関するお知らせ

当社の会計監査人である有限責任開花監査法人より、当社との監査契約を解除し、辞任したい旨の申出がありましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通知を受けた年月日

2021年10月22日

2. 通知を出した会計監査人の概要

(1) 名称	有限責任開花監査法人
(2) 所在地	東京都新宿区住吉町2番15号 萩野ビル6階
(3) 業務執行社員の氏名	小田哲生、福留聡

3. 通知を受けるに至った理由及び経緯

当社は、2021年8月6日付適時開示「社内調査報告書の受領と今後の訂正開示に関するお知らせ」及び2021年9月27日付適時開示「追加調査となる社内調査報告書の受領のお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、2020年4月から2021年3月までの1年間の期間において当社が行った適時開示60件を確認した結果、合計24件の適時開示資料においてその一部またはその全部に事実と異なる内容またはそのおそれがある内容が記載されていたことが判明いたしました。

これを受けて、有限責任開花監査法人からは、当社から2度にわたる社内調査報告書が公表され、主に下記3つの要因をふまえ、監査手続に与える影響が重大であると判断したことから監査契約の継続は困難であるとの連絡があり、同監査法人から監査契約の解除の通知を受けることとなり、本日付で監査契約

が解除されることとなりました。

- ①当社の社内調査の結果、2020年8月26日付「株式取得（子会社化）に関する株式譲渡契約書締結に関するお知らせ」に記載のあるセネジェニックス・ジャパンの100%子会社とされたプロメテウス・バイオテックに該当する企業の存在は確認できなかった。
- ②監査手続のため、プロメテウス・バイオテックの登記簿及び外注先の請求書の資料提出を当社に依頼したが虚偽の資料を提示された。
- ③当社は2020年度のIRの4割にあたる24件のIRを修正し、投資者の投資判断に深刻な影響を与える不適切と認められる開示を継続して行い、当社の内部管理体制等については、情報開示体制にとどまらず、ガバナンスやリスク管理等に関する体制も含め改善の必要性が高く、当社における脆弱な内部管理体制の下で不適切な開示が継続していた。

4. 監査等委員会からの意見

監査等委員会からは、契約解除については特段の意見はないと伺っておりますが、解約にともなう条件で今後協議が必要であるとの回答を得ております。

5. 今後の見通し

この度の有限責任開花監査法人から解約通知書受領に伴い、当社の会計監査人が一時不在となりますが、当社は可及的速やかに一時会計監査人の選任を行うべく手続きを進めてまいります。一時会計監査人が決まり次第速やかにお知らせいたします。なお、同監査法人との監査契約は解約となりましたが、解約に伴う条件面での協議は別途行ってまいります。今後進展があり次第速やかにお知らせいたします。

以 上